

2017年4月14日

助成事業実施報告書

団体名：白梅学園大学 小平西地区地域ネットワーク

中学生(小6)無料学習支援教室(「分かった会」)

代表者・役職名：氏名 奈良 勝行(代表)



▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

中学生および小学6年生の無料学習支援事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2012年3月、白梅学園大学が小平市内のNPO、ボランティア団体に呼び掛けて「小平西地区地域ネットワーク」を設立。2013年12月、何らかの事情で塾等に通えない小中学生のために無料学習支援組織を開設。毎週木曜日午後6時から8時半まで市立小川公民館(使用料無料)で教室を開いている。2017年3月現在、中学生22人・小6生3人の計25人が学び、講師が15人で指導している。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

目的：学校の勉強に遅れがちで、何らかの事情で塾等に通えない小中学生のために無料で学習支援を行うためである。

背景：日本の場合、他国と比べてクラスサイズが大きいために学校の勉強に遅れがちな生徒や、諸事情で塾に通えない生徒が存在しており、そうした子どもに学習支援する地域のニーズがあり3年半前に開設した。ただ最近では、不得意科目を克服することや全般的に学力を高めることを希望する生徒の入会も認めており、多様な生徒が本会で学んでいる。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

毎週木曜日午後6時から8時半まで市立小川公民館で小中学生およそ25人を対象に講師15人がほぼマンツーマンの形で主要5教科の学習指導を行っている。授業料はなし、講師も謝礼なしで指導している。市の教育委員会の後援事業となっている。2013年12月にスタートし、2017年3月30日時点で163回の講座を開設した。学校の授業と異なり一斉授業をせず、その日の授業で分からないことを講師に聞いたり、宿題や課題を勉強したり、定期考査の前では試験対策に取り組む。講師は20代から70代まで幅広い。今年度から中3生の希望者に木曜日の他に火曜日にも指導、つまり週2回指導を計画している。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

毎回の講座 20～25 人の生徒が参加し、出席率は 80%くらい。2017 年 3 月末時点で 163 回開講した (2016 年 9 月～2017 年 2 月まで火曜日コースを試験的に行ったので、それを含めると開講回数は 180 回に達する)。

無償ボランティアの講師陣の熱心な指導のおかげで毎年 7～8 人の中 3 生が都・私立の高校入学試験に合格して入学できたという結果を生み出した。これまで 22 人がこの会を巣立っていき高校に進学した。地域社会で本会が話題になり、口コミで入会する生徒が多くなっている。また、小学校教員免許の取得をめざす本会の学生講師がこれまでの経験を活かし、めでたく採用試験に合格した。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

課題：講師が口コミでしか集まらず、講師の補充がいつも課題となっている。なお、昨年度、真如苑から助成金をいただき、「旅費交通費」をわずかながら講師に支給した。

展望：中 3 生の希望もあり、木曜日以外に火曜日コースを設けて週 2 回指導をめざしている (昨年度 9 月から 2 月まで試験的に実施した)。また地域の公立中学校の教員と情報交換を目指したい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

楽しく学ぶ「分かった会（かい）？（通称）」とは

「中学生（小6）無料学習支援教室」の概要

2017年3月

2013年12月12日にスタートした「分かった会」では、2015年3月に8人、2016年3月に8人、2017年3月に8人の中学3年生が修了し（それぞれ全員が都・私立高に合格）、「分かった会」を巣立ちました。また、2017年3月9日には延べ開講回数が160回に達しました。

- * 目的：中学生（小6）に十分な学力を保障するため
 - * 主催：白梅学園大学・小平西地区地域ネットワーク
 - * 後援：小平市教育委員会
 - * 会場：市立小川公民館（たかの街道沿い）
 - * 開講日：毎週木曜日の午後6時から8時まで
 - * 生徒数：中学生 20人、小学6年生5人、計 25人
(2017年3月現在)
 - * 講師数：15人（大学教員、大学生、一般市民など）
 - * 授業料：無料（もちろん、講師も無償）
 - * 科目：国語・英語・数学・社会・理科
 - * 保険：会場および往復途上での不慮の事故などに対応するために「行事保険」（1回30円）に加入（保険料は保護者負担）
- 連絡先：奈良 勝行（白梅学園大学 教育・福祉研究センター 研究員）
TEL & FAX: 042-344-7237



ほぼ毎回、「マンツーマン」の指導体制を維持。生徒が文字通り「分かった！」と言うまで徹底指導します。



「エーッとこれはこう解けば・・・」（2人がかりで）



視察に訪れた市会議員（左端の女性）も“にわか講師”に。



「あのね、これはこう考えるのよ・・・分かったかい？」

「う～ん、超むずかしいや・・・」

（本会は、真如苑の助成を受けて運営している団体です）

